

京都議定書誕生20周年記念 地球環境京都会議2017 (KYOTO+20)の概要

京都市では、地球温暖化対策に関する人類史上初の国際的な約束である「京都議定書」誕生20周年という節目を記念して、地球環境京都会議2017 (KYOTO+20)を開催することとしております。

この度、会議の概要がまとまりましたので、下記のとおり御報告いたします。

記

1 開催日時及び会場

平成29年12月10日(日) 10時～17時40分(予定)

国立京都国際会館

2 目的

- (1) 京都議定書の意義や、京都議定書誕生以降、都市をはじめ世界が取り組んできた地球温暖化対策の成果と課題を基に、パリ協定を踏まえた対応策の推進に向けて議論することにより、地球温暖化対策の重要性とこれに取り組む方向性についての認識及びその実行に向けた決意を共有すること。
- (2) 世界的に都市化が進展する下で、温室効果ガスの大排出源である都市の役割の重要性も踏まえ、京都市長が東アジア地域理事会議長を務めるイクレイ(持続可能性を目指す自治体協議会、国連の公式協議機関)との協働等を通じて、国際的な都市間連携の強化により、地球規模での温暖化対策の深化を促進すること。

3 テーマ

「気候変動への更なる挑戦 ～京都議定書からパリ協定へ～」

「環境と調和した持続可能な都市文明の構築へ」

4 主催等

- (1) 主催

京都市

(2) 共催

大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所
一般社団法人イクレイ日本
公益財団法人京都市環境保全活動推進協会

5 プログラム（詳細は別紙1参照）

10:00～ 12:15	全体会議	主催者・来賓挨拶等 基調講演	
13:30～ 15:50	分科会	テーマ	①都市間連携により促進する地球温暖化対策
			②低炭素型都市のデザイン
			③環境と調和した持続可能な都市文明の構築へ
16:10～ 17:40	全体会議	基調講演 分科会のまとめ 京都市友好都市青少年会議（本市の友好都市からの留学生と京都市立高校生の参加により，本年8月，環境等をテーマに開催）の成果発表 「京都宣言」（仮称）の発信	

6 定員

1, 000名（入場無料）

※ 事前申込制，先着順受付

7 「京都宣言」（仮称）

(1) 趣旨

健全で恵み豊かな地球の環境を将来世代に継承していくための人類史上における画期的な約束である京都議定書の意義を再確認するとともに，パリ協定へと発展し，その実現に向けた責任を果たしていくことについて，世界の都市が共有することを京都から牽引するため，「京都宣言」（仮称。以下「宣言」という。）を取りまとめ，発信する。

(2) 宣言のポイント

パリ協定では，温室効果ガス排出量の今世紀後半の「実質ゼロ」の実現に向けて，都市の関与の重要性がクローズアップされており，特に温室効果ガスの大排出源である都市部での取組強化が求められている。

こうした背景を踏まえて，宣言には環境と調和した持続可能な都市文明のあるべき姿を含めた2050年の世界の都市の社会像を盛り込み，世界の都市が目指すべき理念を主導するものとなるよう宣言を取りまとめる。

(3) 宣言草案の取りまとめ及び宣言の発信

会議を主催・共催する4団体が共同で起草委員会を設置し、有識者や、未来を担う若者などの意見を踏まえて、宣言草案を作成する。草案は、会議当日までに参加都市等の賛同を得たうえで宣言として発信する。(別紙2)「京都宣言」(仮称)に盛り込む論点(案)参照

(起草委員会委員名簿)

◎	安成 哲三氏	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所長。専門：気象学・気候学・地球環境学
	松岡 譲氏	京都大学名誉教授。専門：環境システム工学
	ラウパッハ・ス ミヤ・ヨーク氏	立命館大学経営学部教授。専門：エネルギー・市民参加

◎…委員長

(4) 宣言の趣旨の反映等

ア パリ協定の目標実現を京都が牽引するため、今後の本市の地球温暖化対策において、宣言の理念を反映する。

イ イクレイの世界大会など、様々な機会を通じて、広く世界に発信し、浸透を図る。

【参考】イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）

平成2年に国連主催の「持続可能な未来のための世界会議」において設立された、持続可能な社会の実現に積極的に取り組む自治体で構成された国際的な連合組織であり、国連の公式協議機関。

世界86箇国・地域から1,500以上の自治体で構成されており、うち、東アジアでは、91自治体（日本20、韓国57、中国2、台湾11、モンゴル1）、日本は20都府県市区が加盟している。

世界本部はドイツ・ボン市、東アジア事務局は韓国・ソウル市、日本事務所（一般社団法人イクレイ日本）は東京都にある。

日本でのイクレイ加盟自治体（20自治体）

京都市、東京都、愛知県、京都府、札幌市、さいたま市、川崎市、横浜市、名古屋市、岡山市、広島市、北九州市、武蔵野市、飯田市、松山市、富山市、豊田市、下川町、板橋区、墨田区